

● 西北毛 ●

障害ある子どもら 冬スポーツ楽しむ

スキーや雪合戦、群大が企画



長野原

群馬大の地域貢献事業の一環として、障害のある子どもたちにウィンタースポーツを楽しんでもらう催しが17日、長野原町北軽井沢の軽井沢スノーパークで開かれた。県内の特別支援学級などに在籍する児童生徒15人がスキーや雪遊びを満喫した。写真。

同大共同教育学部の教員や学生らがスキーの滑り方を指導したり、一緒に雪合戦で遊んだりした。群馬大共同教育学部付属特別支援学校高等部3年の奥谷恒介さん(18)は「雪で遊んで楽しかった。スキーも上達した」とうれしそうに話した。

障害のある子どもたちの交流を深めるとともに、自然の中で運動することの喜びを味わってもらおうと企画。昨年12月から説明会や学生研修会を開き、準備を進めてきた。

(須永彪月)